

運営推進会議・会議録		承認	確認	作成
		佐藤	鈴木	鈴木
開催日時	令和 7 年 9 月 26 日(金)	10：00 ～ 11：00		
開催場所	特別養護老人ホームわかば イースト 会議室			
出席者	お客様・ご家族様代表 地域の方代表 由利本荘市長寿生きがい課 有識者の方 第三者委員 特養わかばウエスト施設長 わかば会障がい統括 特養わかばイースト施設長 特養わかばイースト介護主任			
項 目		内 容		
目的		2025 年度 第 3 回運営推進会議 地域密着型サービスにおける運営推進会議は、事業者が提供するサービス内容を明確にし、地域に開かれたサービス運営を通じてサービスの質を確保することを目的としています。		
活動状況報告		1、お客様推移 2025.8～2025.9 8 月お客様の変動なく 29 名である。 9 月お客様の変動なく 29 名である。 男性 7 名、女性 22 名。 平均年齢 89 歳、最小年齢 69 歳、最高年齢 100 歳。 平均介護度 3.9。 2、ヒヤリハット、事故、苦情について 8 月ヒヤリハット 0 件。事故 1 件。 9 月ヒヤリハット 2 件。事故 2 件。 苦情はなかった。 3、レクリエーションと行事 8 月 ミュージックケア 9 月 ボランティアレク（人形劇、よさこい）、100 歳お祝い敬老会 花火 わかば通信とともに紹介		

4、研修、勉強会

8 月

社内研修：高齢者虐待を含む虐待防止に関する研修①

社外研修：実務者研修食介護セミナー、認知症セミナー、
認知症介護実践者研修、介護施設等看護実務者研修、
食介護セミナー、認知症セミナー、
認知症介護実践者研修、介護施設等看護実務者研修、
地域密着型サービス事業者集団指導

9 月

社内研修：ユニットケア研修、服薬管理についての研修

社外研修：実務者研修、認知症介護実践者研修、地域ケア会議、
ゆりほん多職種連携研修会、福祉施設看護職員研修、
介護施設等看護実務者研修

5、職員の状況

●介護職員・・・・・・・・・・	16 名	介護福祉士・・・・・・・・・・	11 名
		実務者研修修了・・・・・・・・	1 名
		初任者研修修了・・・・・・・・	2 名
		初任者研修受講予定・・・・・	2 名
●看護師・・・・・・・・・・	3 名		
●機能訓練指導員・・・・・・・・	1 名	(非常勤専従 作業療法士)	
●生活相談員・・・・・・・・・・	1 名		
●管理栄養士・・・・・・・・・・	1 名		
●管理者兼介護支援専門員・・	1 名		

6. 委員会

・虐待防止検討委員会

部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。

・身体拘束廃止委員会

部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。

・見守り機器等活用委員会

令和 6 年度秋田県介護テクノロジー活用支援補助金で見守り機器 29 台導入
体動アラートを設定し、お客様の生活リズムの把握を行い、事故防止の対策
に活用している。

職員向けのアンケートを実施し、負担軽減と夜間の休息時間の確保のための
業務の流れを検討中。

機器の不具合等がないよう、定期点検を実施。

7, 皆様からの要望、ご助言等

・ヒヤリハットとして挙がっていた歩行器の方について、リハビリ職員へ援助に入ってもらいご自分で方向転換ができる支援をしていただきたいと思う。

・かくれたヒヤリハットを見つけていくことで事故が減っていくと思う。

・職員が 16 名と増えているがグローバル職員等の育成中の職員を含む人数となっているとのことで、グローバル職員は日本語での意思疎通がまだな部分もあり、みんなで関わっていければよくなる。

・初めて会議に出席したが、お客様がよりよい生活となるように職員が働いており、職員とお客様の関係性が良いと感じた。

・職員同士、お客様とのコミュニケーション、安心感をもってもらえるような声掛けを常にできるようにしてほしい。

・車いすに乗っているお客様の目線に合わせたコミュニケーションができるように心がけていけたらいい。

・地域の方々と交流をもち災害時など協力できるように お願いしていければいいと思う。

・オレンジカフェのちらしを配布している。ぜひ参加してほしい。

【次回開催予定】

令和 7 年 11 月 27 日（木）10：00～